令和７年度　輪之内町立輪之内中学校の教育

学校の教育目標　　ひとりだちのできる生徒
～自ら考え、よりよく判断して主体的に行動する生徒～
《校訓》　　開拓精神

◇町の方針
・自ら考え、自ら決め、主体的に行動し、振り返り、結果に責任をもつ力の育成
・話し合って、納得解を見付け、新たな価値を創造する力の育成
・学んだことを生かして社会に貢献する力の育成

◇学校課題
①生徒が心を開いて相談できる関係
②課題解決に向けて、主体的に取り組む姿
③仲間とともに問題を解決し、よりよい生き方を考える姿
④「なりたい自分」に向けて取り組む指導
⑤教職員と地域をつなぐ学校運営協議会の運営

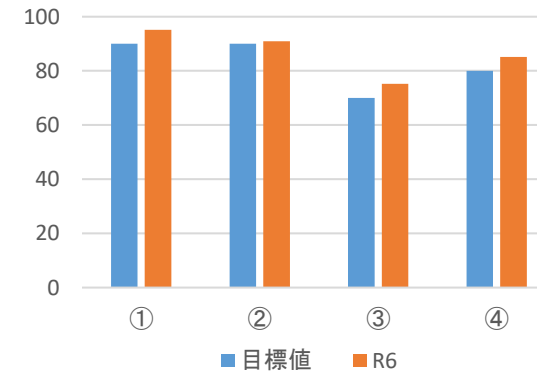
願う生徒像　　自分で考え　自分が決め　自分から行動する

教職員組織で対応

★認められている安心感　（生活指導部会）

○　生徒一人一人に寄り添い、生徒が心を開いて相談できる関係をつくる。
○　約束の徹底と共通理解のもとで、安心して生活できる環境を築く。

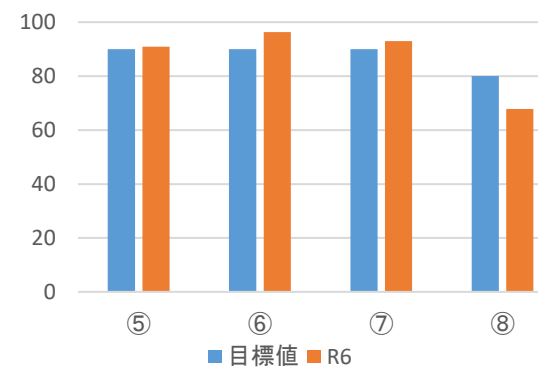
生ア1①学校へ行くことが楽しいと思う。90%（95.1）
生ア2②学級は安心して生活できる場所である。90%（90.9）
生ア5③困ったときや不安になったときに先生に相談する。70%（75.2）
保ア1④子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている。80%（85.1）



★学び合っている充実感　（学習指導部会）

○　課題の解決に向けて、主体的に取り組むことができる。
○　交流やまとめの場で、仲間の意見や学びの姿を認め合うことができる。
○　仲間や先生の話を聴き、自分の考えを深めたり広めたりしたことを、仲間に伝えることができる。

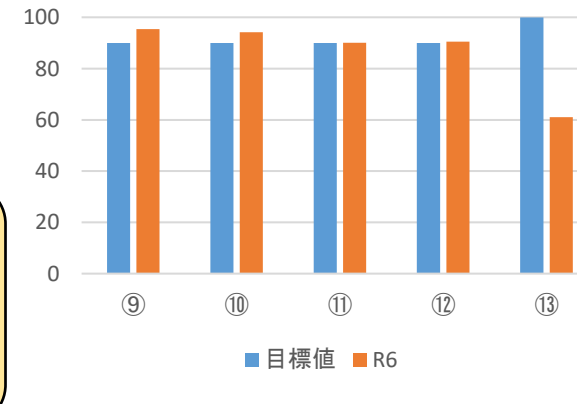
生ア6⑤仲間のよさや頑張りに目を向け、認めることができる。90%（90.9）
生ア7⑥授業では自分で考え取り組んでいる。90%（96.3）
生ア8⑦仲間の話を聴き、自分の考えを深めている。90%（93.0）
保ア8⑧学校は、確かな学力が身に付く教育を推進している。80%（67.8）



★成長できた達成感　（特活指導部会）

○　自ら問題を見つけ、話し合いを通して仲間とともに問題を解決したり、よりよい生き方を考えたりすることができる。
○　学校生活の充実や改善を図る活動を考え、実行する実践力を育てる。
○　学校行事を通して、仲間と関わり成就感を味わえるよう工夫する。

生ア15⑨行事を通して達成感・成就感を味わうことができた。90%（95.4）
生ア16⑩行事や生徒会取組を通して成長できた。90%（94.2）
生ア17⑪なりたい自分」の実現に向けて、自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている。90%（90.1）
生ア18⑫話し合いを生かして、努力することを決めて取り組んでいる。90%（90.5）
職ア16⑬教師は、「なりたい自分」の実現に向けて取り組む指導ができた100%（61.1）



教職員の姿勢　「なりたい自分」の実現に向けて取り組む指導をする
1　学級・学年の仲間づくりを日常生活の基盤として行い、「注意できる関係性」を育てる。
2　基礎・基本の確実な定着を図る丁寧な指導と教師の授業改善で「学ぶ意欲」を高める。
3　生徒が行う「価値ある活動」を精一杯支援し、「やりぬく強さ」を培う。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を活かした学校運営

○地域スポーツ・文化活動への支援
　・部活動と地域スポーツ・文化活動との連携
○職場体験学習の充実
　・職場体験受け入れ事業所の確保
○地域学校協働活動本部との連携
　・ボランティア活動の支援、見届け
○「ふるさと輪之内」の教育の推進
　・地域と学校が連携して進める活動

やりたいことリスト

1　学年担任制
　・学年全員の生徒の状況把握・情報共有
2　放課後の30分時間
　・45分授業で生み出す30分の効果的な活用
3　全校朝会の実施
　・コミュニケーションを高める場として実施
4　生成AIを活用した授業
　・町研で「輪中スタイル」の授業公開